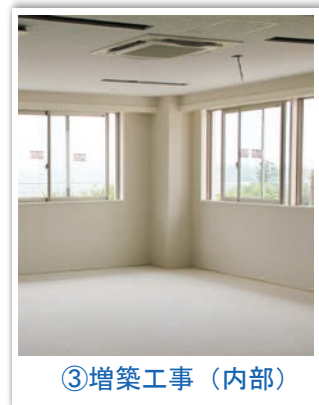




①南側からの全景



②増築工事（外観）



③増築工事（内部）



④花壇農園



⑤芝生農園



⑥東側駐車場

現在行われている工事は、事務棟増築工事、車椅子で野菜や果樹に接することの出来る花壇農園、果樹園広場となる芝生農園、来客や職員の駐車場となる東側駐車場ですが、完成は夏まつり（8月16日）頃となります。

増築することで利用者さんの部屋が広くなり医務室も拡充されます。花壇農園では職員人気投票で最多票となったブルーベリーも多数植えられました。広く明るくなった施設や花壇農園は保育園はじめ法人内の事業所でも活用していく計画です。

隣接地権者の皆様や伊勢原市農業委員会はじめ関係各位の御理解の賜物です。 感謝！



「福祉の輪拡げたい」は、当初より写真を多用した編集を心がけてまいりました。始めの頃はその写真が少なかったうえ、印画写真をスキャンして使うなど大変苦労しましたが、今は職員の皆様が気軽にデジカメで撮影をし、写真データは施設全体のサーバーに送信されています。蓄積された写真データはいつでもデジタルで引き出せるようになりました。編集者冥利です。有難うございます。

「福祉の輪拡げたい」第22号
 発行： 2014年7月
 発行責任者： 岩崎尊之（理事長）
 編集責任者： 諸橋 晃（広報担当理事）
 事務局： 社会福祉法人緑友会 総務部
 伊勢原市伊勢原3-6-7
 Tel 0463-73-7221
 印刷： カサハラ印刷株式会社
 伊勢原市白根475-1

社会福祉法人緑友会 各施設のご案内	
社会福祉法人緑友会 本部・総務部	伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-7221
障害者支援施設 みどり園	伊勢原市栗窪605-1 Tel: 0463-93-4722
障害者支援施設 清川ホーム	愛甲郡清川村煤ヶ谷3293 Tel: 046-288-2911
認可保育所 伊勢原ふたば保育園	伊勢原市高森1391-3 Tel: 0463-92-6226
認定あつき保育室 本厚木ふたば保育園	厚木市田村町7-3-2 F Tel: 046-295-2525
知的障害者グループホーム げんき家	伊勢原市桜台2-16-25-201 Tel: 0463-91-7865
就労継続支援B型事業所 つくし	伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-92-7900
相談支援事業 つくし相談室	伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-6027
就労継続支援B型事業所 アトリエ ヴェルデ	伊勢原市田中70-5 Tel: 0463-79-8181

福祉の輪拡げたい

第22号 2014年7月発行

特集 アトリエ ヴェルデ 開設！



4月1日に緑友会として8番目の事業所となる『アトリエヴェルデ』が開設しました。ヴェルデはイタリア語で、『緑』という意味です。

一昨年に開設準備室を設置し、昨年4月より緑友会内の『つくし』の中で職員2名、利用者さん4名で、プレ・オープン。施設の室内外をリフォームし、新しい事業所のスタートに向け利用者さんと職員の意思疎通を図りつつ着実な準備をしてきました。

プレ・オープン期間では、作業受注や定着、安定的受注につなげると共に支援費請求等の事務や新作業所としての運営理念の確認等を行ってきました。同時に、写真の通り旅行や花見、誕生会などの親睦の機会も加え、働く楽しさや相談先の確保など、地域生活に移行していくための体制を整えてきました。

満を持した開設は職員4名、利用者さん7名でのスタートです。定員は利用者さん20名ですが、時間をかけて優良な事業所にしていく計画です。伊勢原市役所のすぐ近くですのでお気軽にお立ち寄り下さい。

（施設長：石田英弘）



1階作業室での作業風景



2階ラウンジでの誕生会

第22号の内容

特集 アトリエ ヴェルデ 開設！ --- 1

NEWS	2・3
ピックアップ	4・5
もろさんが行く	6・7
みどり園各種工事が進捗	8



花見



一泊旅行

NEWS 1 顧問・評議員・理事に新たに3名選任！



長塚幾子顧問 山本進評議員 岩崎輝理事

長塚顧問は3月1日、山本評議員と岩崎理事は4月1日の就任です。行政や民間での豊富な経験を私共の法人や各事業所の運営に活かしていただけることは大変に光栄です。感謝いたします。

NEWS 2 新施設長に就任！

伊勢原ふたば保育園	松野ひとみ
本厚木ふたば保育園	霜島裕美子
つくし	新實 正樹
つくし相談室	柳田 将志
アトリエ ヴェルデ	石田 英弘

法人設立以来、一度に5名の新施設長が誕生するのは初めての事です。とは言うものの内4名は前年に内定し各種準備を積み重ね満を持しての就任ですから期待に胸が弾んでいるようです。

『もろさんがいく』でコメントが掲載されています。応援をよろしくお願い致します。

施設長に新たに5名の方が任命されました

本年2月25日の第11回理事会で新施設長が5名同時に承認される喜ばしい出来事がありました。ご就任を頂きほぼ3ヵ月目にあたり”もろさん”は皆様に今後の抱負などをお聞きにうかがいました。

社会福祉法人緑友会
伊勢原ふたば保育園
ISEHARA FUTABA NURSERY
園長 松野 ひとみ

伊勢原ふたば保育園は、今年で16年を迎えました。園の近隣は、住宅も増え、設立当初に比べ様変わりしましたが、緑豊かな田園風景は今も残り、子ども達は毎日元気に過ごしております。今年度より園長を仰せつかりましたが、多くの先輩の方々から受け継ぎ、責任の大きさを感じております。職員一同、自己研鑽を積み「子ども達の最善の利益」を常に念頭に置き邁進してまいります。

社会福祉法人緑友会
本厚木ふたば保育園
園長 霜島 裕美子

開園から3年目を迎え、認可園に向けての飛躍の年に、園長に就任し、身が引き締まる思いです。スローガンである「コミュニケーション共育」を実現し、「子どもの笑顔が最優先」をモットーに、職員一同、力を合わせて保育に取り組んでまいりたいと思っております。よろしくお願い致します。

NEWS 3 小沢金男元議長の御逝去！



元神奈川県議会議長の小沢金男先生は緑友会の設立に大きな影響を与えてくださった方で創立30周年記念式典の際に功績表彰を授与いたしました。心より感謝を致しつつご冥福をお祈り申し上げます。

NEWS 4 みどり園保護者会より寄付金受領！



みどり園

みどり園では最終ページの通り増築をはじめ様々な工事が行われていますが、保護者会の皆様より隣地購入目的で、3000万円もの多額の寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人緑友会
つくし
施設長 新實 正樹

地域作業所時代から、歴代の施設長が築いてきた、あたたかい雰囲気をつくしを継承し、微力ではございますが全力を尽くして新しい風も吹かせてまいりたいと考えています。今年度掲げている職員テーマはチームワーク力向上です。何事も皆で話し合う場を持ち、情報を共有して、職員のプロ意識を高め、より良い支援、より良い職場をめざしてまいります。

社会福祉法人緑友会
つくし相談室
室長 柳田 将志

今年度よりつくし相談室室長に任命されました柳田と申します。計画相談などの増加かつ多様化する障害のある方のニーズに応えるべく、今年度より常勤職員3名で、相談支援体制を強化いたしました。これから緑友会や地域に対し、全力で対応させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

NEWS 5 居宅支援事業所ナイスを閉鎖！



ナイス

在宅精神障害者の生活支援を行なったり通院等の移動支援を行なってきましたが、基準に満たない利用状況でしたので引き継ぎを丁寧に行い閉鎖しました。これまでの御利用に厚く御礼申し上げます。

NEWS 6 リトミックルーム開設！



本厚木ふたば保育園

開設から丸2年が経過し、プール園庭、花壇に続き、このリトミックルームで施設整備は一段落します。音楽を保育の場面に活用し、体を動かし優良な保育を実現します。是非、ご見学下さい。

社会福祉法人緑友会
アトリエ ヴェルデ
ATELIER VERDE
施設長 石田 英弘

4月1日より新しい事業所としてスタートしたアトリエ ヴェルデは、以前「つくし」があった場所をリニューアルして利用者7名で始まりました。一般企業での就労が困難な方に対して働く場の提供とともに就労に必要な知識や能力の向上に向けて支援を行い働く楽しさを知っていただく場所に出来たら良いと思っています。

もろさん

もろさんの経歴：会社役員を経て、現在はお店を経営
岩崎理事長とは長いつきあい。緑友会の評議員を経て、現在広報担当の理事になりました。法人の話題のほか、市内や県内、気になるところに行ってお話をうかがいます。



緑友会理事 諸橋 晃

ペーパークラフト

“もろさん”が試作した作品を写真でご覧ください。それぞれの大きさは高さが10センチくらいです。作品は動物、小物、電車、車、オートバイなど様々に印刷データが無料でインターネットからダウンロードができます。

それを手持ちのA4プリンターでカラー印刷を（左の写真）して作る手芸品とでもいいでしょうか、今結構人気が出てきています。少し時間をかけて創ることの楽しみもあるからです。

またプリンターメーカーの思惑もあると聞きます。年賀状の時期が過ぎると一気にプリンターインクの需要が減少します。これを少しでも食い止める対策としてペーパークラフトのデータを無料で提供しているとも聞きました。

作成するための文房具は、引き出しに転がっているもので作れますが（中の写真）、少し慣れてくるとクラフト専用のカッターとか、紙に丸みをつけるためのアルミの棒があれば便利です。（完成が右の写真）作り始めると印刷データは海外のデータをダウンロードするとか凝り始めますが、そこは適当に。

さて今回の試作でウイークポイントがみつかりました。ペーパークラフトの専用紙として販売しているものが耐光性に大変に弱いことでした、これは伊勢原スタジオの展示場に置かせていただいたものが僅か2週間で、ほとんど色ボケの状態となり残念でした。写真用の光沢紙の方がまだましです。



プリンターで印刷した原版です

あり合わせの文房具でOKです

完成品のサンプルです

恐かった本当の話

このお話は“もろさん”が出合った本当の事なんです。

場所は横浜駅の西口JRから相鉄線へ向かうコンコースです。JOINUS看板からもご覧いただける、右が高島屋でいつも混雑している通りです。（右の写真です。別な日にピントをぼかせて撮影しました。）

ある日の夕方“もろさん”は大勢の人の流れに乗って相鉄線へ向かう帰り道でした。ちょうど中間のあたりに差し掛かった時、向こうから年の程や背恰好が私くらいのおじさんが“やあ”と言いながら右手を挙げて私に近づいてきます。左右は大勢の人の流れの真っただ中、おじさんはあげた右手で握手を求めてきます。“もろさん”は一瞬のことでその方が誰であったか思い出そうとしますが、頭が混乱したまま握手の手も離す事が出来ずに、流の端へ誘導させられます。もうその時点では二人の立ち位置は平行線の状態でお互いの顔は良く監視できない位置関係です。

話題は「元気かい」とか、あとふたつ程の取り留めのない話の後、突然「競馬は好き？」と切り出しました。「競馬やったこと無いよ」この時点では相手は中学時代の同窓生に何となく似ているなあと思い出すことに集中して話の上の空です。

その時いきなり相手はジャンパーのポケットから万札をぐるぐる巻いて、ごく無造作に輪ゴムで止めたものを見せる。おそらく100枚以上はありそうだ。それをちらつかせながら「きのうの儲けさ」「これからまた行くんだ」「儲け方を教えるよ一緒に来ない」と実に親切に話かける。“もろさん”この時点でもどこかで会った顔だなあと脳裏をよぎる。

しかし「おれギャンブルは好きじゃないんだ」と言いながら人の流れに乗って強引に離れた。帰りの車内でもあいつ何処かで会った顔のような気がしてならない。でも強引に分かれて正解だと思う。いや一緒について行って大もうけをした方が良かったかもしれないかも。読者のご想像にお任せします。



あの時はもっと混雑していました



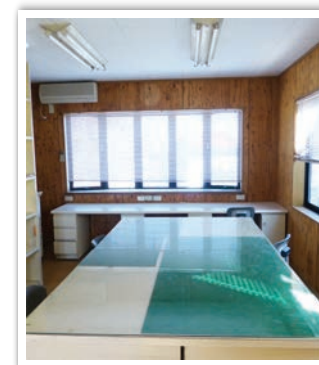
法人本部

小澤俊通評議員が社団法人神奈川県私立幼稚園連合会の会長に就任されました。所属の幼稚園は583園。神奈川の代表として益々多忙になられます。御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



本厚木ふたば保育園

山口貴裕神奈川県議会議員（認可保育園愛歩（あゆみ）保育園施設長）が6月5日、本厚木ふたば保育園を見学して下さいました。厚木市選出の県議の真剣に学ばれる姿に感激しました。



つくし相談室

障害福祉サービスを受けるには、サービス利用計画を作成することが求められますので、相談支援事業は益々重要になります。職員の増員に加え新施設への移転計画が進んでいます。



清川ホーム

今年2～3月の大雪は法人内の各施設の運営に少なからず影響がありましたので、新潟県魚沼市の施設で雪害対策を学ばせていただきました。年内には対策をとりまとめ具体策を講じる予定です。



伊勢原ふたば保育園

伊勢原ふたば保育園では開設から15年経ちますので改善は各所で必要になっています。そんな折、五月人形を寄贈していただけたとの申し出があり、ありがたく受領しました。明るく楽しい園児の声が人形に届いているように感じました。



ふたば保育園

みどり園の芝生農園となる農地の最後のじゃがいも収穫を『皆さんでどうですか』と地主の中和様から温かい声を掛けていただき両ふたば保育園の園児が大喜びで参加しました。

ピックアップ1

生活の質を高める工夫（みどり園）

増築及び改修工事完成への期待が膨らむ一方で、工事中の出入口変更などで利用者の方々がストレスを感じておられるのではないかと、日常生活を再点検する話し合いを積み重ねました。その中から二つのことを取り上げ実行に移しています。

その一つが、工事中は資材置き場となった前庭に代わって、ホールからすぐ外に出られるスペースにサンデッキを設けたことです。車椅子でも利用できるようコンクリートでデッキが作られ、ベンチも設置されて、日向ぼっこや外気浴が気軽に楽しめるようになりました。

もう一つは、今まで以上に暮らしの中に音楽を取り入れて、癒しの空間を演出しようという試みです。カラオケの機会をふやすことに加えて、有線放送からBGMを取り込んで休憩時間などに音楽が流れるよう心がけています。音楽は以前にも取り入れていたのですが機器の故障などの理由でしばらく中断していました。工事中のこの時期にこそ、生活に潤いが行き届くようにと職員みんなで話し合いました。起床から朝食までは季節の小鳥の鳴き声や明るい曲、昼は「くつろぎのイージーリスニング」ということで童謡やハワイアン、夕方は「やさしいクラシック」など、心なごむ雰囲気を作るようにしています。ハード面の整備に合わせて、日常のソフト面も見直して、利用者の生活がより豊かなものになるように工夫を重ねていきたいと考えています。

（みどり園 施設長 菅原 敦 増改築担当 小澤 健）



サンデッキでお茶を楽しむ



音楽を聴きながらおやつの時間

ピックアップ2

リズムと生活（本厚木ふたば保育園）

本厚木ふたば保育園に、リトミックルーム「ふたばのもり」が誕生しました。

子どもたちはここでトランポリンや手先からつま先まで全身の筋肉を使う壁のぼり（クライミングウォール）のほかに音楽リズム遊び（リトミック）に取り組んでいます。人のからだの中にはそれぞれの律動（リズム）があり、特に育ち盛りの子は手、足、頭などを音楽に合わせて動かすことでより良い発達につながっていくといわれています。ピアノの伴奏に合わせてリーダーの声かけで「うさぎ」「かめ」「とんぼ」「めだか」「うま」になって動くのですが、手足の動かし方はそれぞれで、年長児のまねをしたり、変化する音楽のスピードに合わせてたりするなど、さまざまな要素が入ってきて、子ども自身がそれなりに工夫を重ねます。



クライミングウォール

また楽しく自発的に動くことで、骨・筋肉・関節・神経系の発達を促し、同時に自然への認識をも深め育てていくことにつながります。* 遊び心を満たしてくれる安全な環境のもとで、のびのび動きまわる子どもたちの姿に、部屋の改修段階から話し合いを重ねてきた私たち職員も、とても満足しています。今後もリトミックなどのリズム遊びを日課に取り入れて、人の成長に必要な、這う・踏ん張る・つかまる・つかむ・走る・跳ぶ等の動きをたくさん経験させ、子どもたちの成長発達にしっかり取り組んでいきたいと考えています。 * 参考 斎藤公子著「さくら・さくらんぼのリズムとうた」

（本厚木ふたば保育園 園長 霜島 裕美子）



リトミック（かめ）

ピックアップ3

利用者の就労に向けて（つくし）

ハローワークを通じた障害者の就職件数が4年連続で過去最高を更新し、昨年度は77,883件となり、新規の求職申込件数も169,522件に増加しているとの発表がありました。（厚労省資料より）

昨年6月に成立した改正障害者雇用促進法は、これまで義務付けされてこなかった精神障害者の雇用義務づけが主な内容で、その施行は5年後の平成30年となっています。それに伴い、これから企業側の条件整備が急がれます。そのためには今後、つくしのような就労継続支援事業所や相談支援事業所が、精神障害者の就労に向けて積極的に働きかけて企業側の理解を得る役割を担っていく必要があると考えています。

現在つくしでは、企業から受注した事業所内での作業のほかに、利用者5名と職員1名のユニットで企業に出向いて行う施設外作業も実施しています。さらに利用者が企業で就労する可能性について企業側と定期的な話し合いの場を設けています。また、就労した利用者の就労後のフォローを通じて企業側から求人情報をいただき、新たな就労に結びついた事例もありました。つくしでは過去2年間に6名（うち4名は昨年度）

の方々が一般企業に就労することができました。今後も多くの企業と連携を深め、信頼関係を構築して利用者の雇用拡大に努力したいと考えています。

（つくし施設長 新實正樹）



企業（ケー・エム・カーゴ株式会社）に出向いて作業を行う利用者



ピックアップ4

子どもの事故を防ぐ取り組み

「緑友会の保育園では、事故防止への取り組みの一環として、消費者庁から毎週木曜日に「子ども安全メール」の配信を受け、これを全職員で確認して意識向上に努めています。

これまでも「駐車中のバイクのマフラーにふくらはぎが当たってやけど（4月3日）」「ペットボトルのキャップ等の誤飲に注意（5月8日）」などの情報提供がありました。

日本は医療の進歩により、新生児（生後1ヶ月未満）や乳児（1歳まで）の死亡率が極めて低いにもかかわらず、子ども全体の事故やけがはかなり多いといわれています。（WHO乳幼児死亡率統計より）子どもは日々成長し、できなかったことが急にできるようになるものです。昨日まで寝返りをうてなかった子が、ある日寝返りをしてベッドから転落するという事は起こり得る事で、それはアクシデントというよりは予測可能なことなのです。予測可能なことは、大人の配慮で防ぐことができるはずだという認識を保育する側が持つ必要があります。

3年前、大和市の幼稚園で水遊び中の3歳児が水死した事故の裁判では「安全配慮に対する認識が乏しく、基本的注意義務に違反した」と判決がありました。子どもが自分の膝下くらいの水位でも溺れることは、過去の事例が示



おもちゃはこまめに消毒しています

しています。緑友会の各施設で毎月実施しているヒヤリハット報告（事故やけがに至らないけれどもヒヤリとした事例調査）などもいかながら、安心安全な保育を心がけたいと考えています。

ピックアップ選者

選者経歴：元伊勢原養護学校校長
元県教育相談専門員

現在、県内の専門学校で障害福祉の教鞭をとると共に、当法人の参与として広報や職員研修等を担当しています。



緑友会参与
三田 良典